

包 括 的 公 表

平成 19 年 1 月～ 3 月に報告された医療事故のうち、包括的公表となる事例は下記のとおりです。

発生場所	概 略	再発防止策
手術室	緊急手術後、レントゲン写真でガーゼが腹腔内に残っていることに気づき、再手術を行い取り除いた。	出血量が 2000m l を超える手術などについては、レントゲン写真でガーゼ遺残の有無を確認し、手術を終了する。
手術室	頸動脈の手術後、回復室で創部が腫脹した。再手術で静脈性出血を認め、止血した	手術終了時の止血を入念に確認する。
手術室	膀胱留置カテーテルを挿入した時、尿道内で固定用のバルーンを拡張したため、尿道損傷を起こした。	膀胱留置カテーテルは全長を挿入し、尿流出を確認後固定用バルーンを拡張する。挿入困難な場合は泌尿器科医師に相談する。
外来	小児の眼底検査時、患児の手の抑制がゆるみ、開瞼器をとろうとしたため、右下眼瞼が傷ついた。	患児の固定を確実に行う。